

統計で見る

Kraao

九州漁業の概要

令和7年度版



有明海での漁業の様子

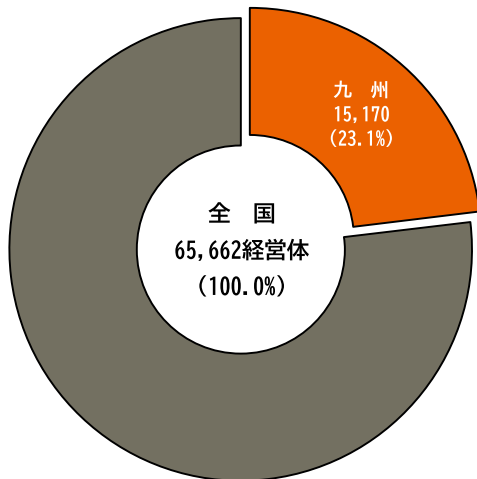
令和8年2月
九州農政局 統計部

1. 漁業経営体 - Fishery management entity -

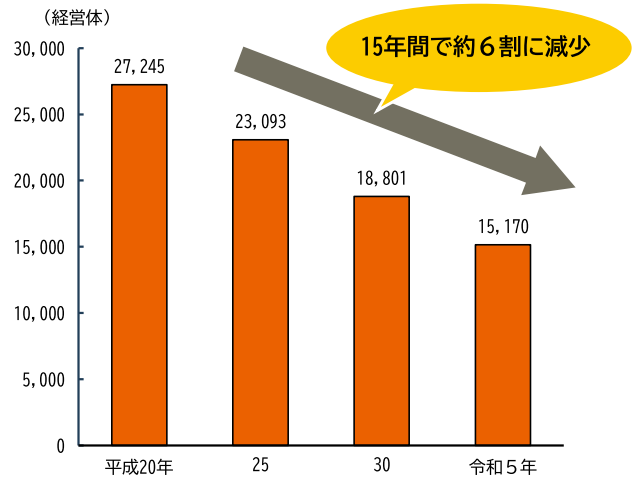
九州の漁業経営体は15年前に比べ44%減少。

令和5年における九州の漁業経営体数は15,170経営体で、全国の23.1%を占めていますが、15年前（平成20年）に比べ12,075経営体（44.3%）減少しています。

令和5年 漁業経営体数
(全国・九州)



漁業経営体数の推移 (九州)



資料：農林水産省統計部「漁業センサス」（以下同じ）

注：漁業経営体とは、調査期日前1年間に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面漁業を営んだ世帯、事業所等です。ただし、調査期日前1年間における自営漁業の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除きます。

- ・個人経営体：漁業経営体のうち、非法人の個人・世帯をいう。
- ・団体経営体：個人経営体以外の漁業経営体をいう。

注：「九州」としての公表数値が無いものについては、九州各県の値を単純計算しています。（以下同じ）

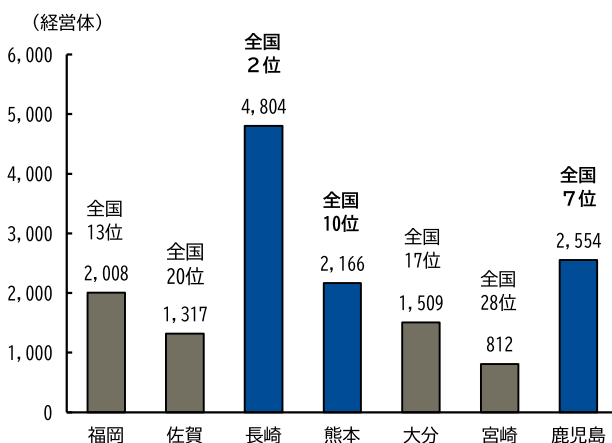
注：四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合があります。（以下同じ）

九州では長崎県が最も漁業経営体数が多い。

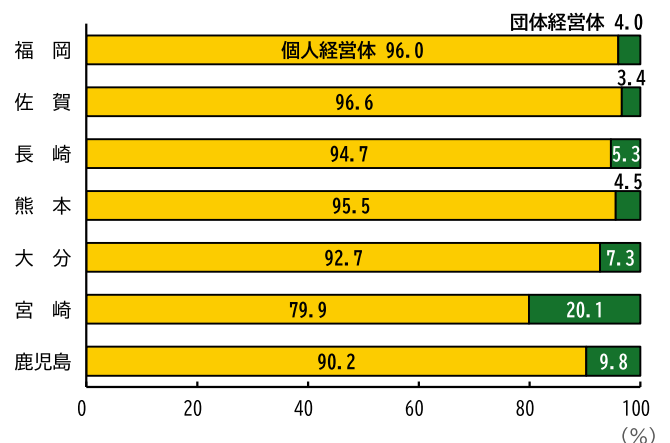
九州各県の漁業経営体数数を見ると、長崎県が4,804経営体（全国2位）で最も多く、次いで鹿児島県が2,554経営体（同7位）、熊本県が2,166経営体（同10位）と続いています。

一方で、個人・団体別経営体の構成割合をみると、団体経営体の割合は宮崎県（20.1%）が最も大きく、次いで鹿児島県（9.8%）、大分県（7.3%）と続いています。

令和5年 漁業経営体数 (九州県別)



令和5年 個人・団体別経営体構成割合
(九州県別)



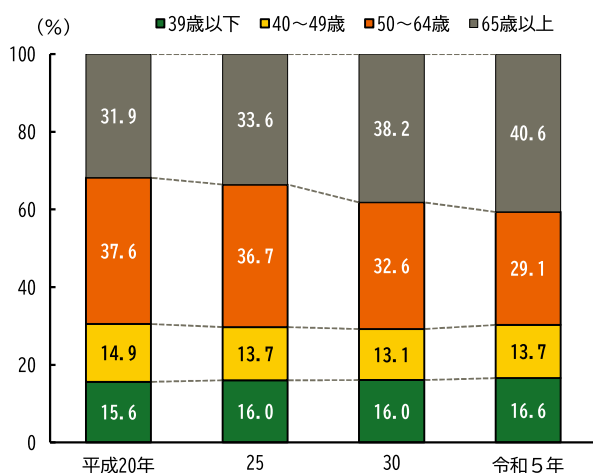
1. 漁業経営体（つづき）

漁業従事者の高齢化が進行。

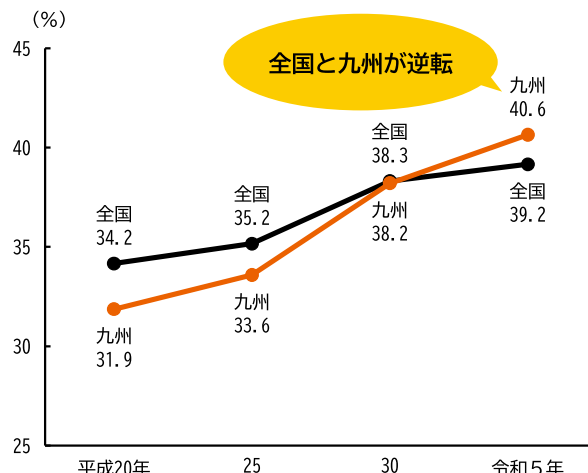
九州における漁業従事者の年齢別構成割合の推移をみると、15年前（平成20年）に比べ全体に占める65歳以上の割合が8.7ポイント上昇しています。

また、同層の割合は、当初は九州が全国平均を下回って推移していましたが、徐々に差が縮まり、令和5年に逆転しました。このことから、九州は全国平均よりも高齢化が加速しているといえます。

漁業従事者の年齢別構成割合の推移
（九州）



65歳以上の漁業従事者割合の推移
（全国・九州）



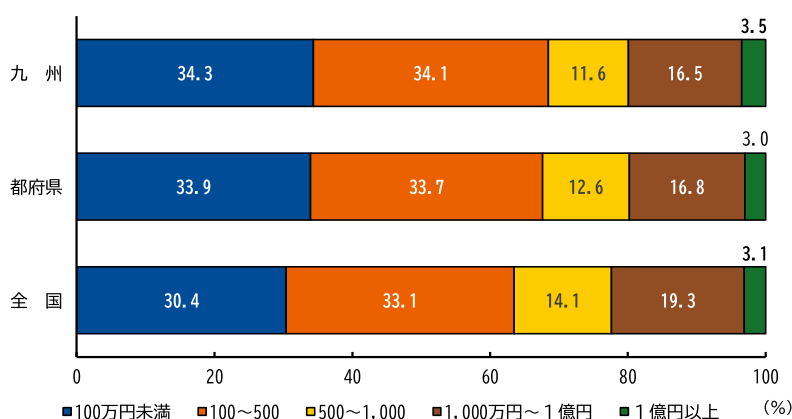
注：基幹的漁業従事者とは、各個人経営体における満15歳以上の自営漁業の調査期日前1年間の海上作業従事日数が最も多かった世帯員です。

漁業経営体の約7割が販売金額500万円未満。

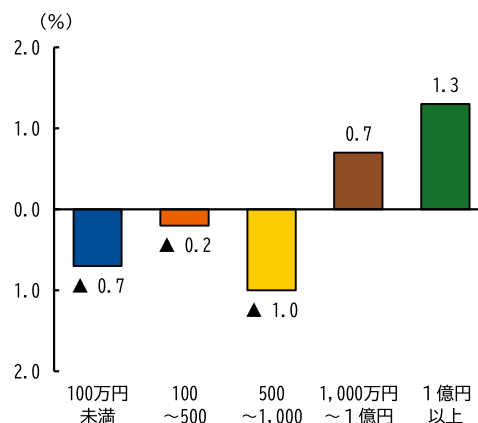
令和5年の漁獲物・収穫物の販売金額規模別経営体の構成割合をみると、九州では販売金額500万円未満の経営体の割合が68.4%を占めます。（全国平均は63.5%）

一方で、九州の構成割合を15年前（平成20年）と比較すると、販売金額が1,000万円未満の経営体の割合が減少した一方で、1,000万円以上の経営体の割合は増加しています。

漁獲物・収穫物の販売金額規模別経営体構成割合
（令和5年）（全国・都府県・九州）



構成割合変化割合（九州）
（令和5年 / 平成25年）



注：100万円未満は、販売無しを含みます。

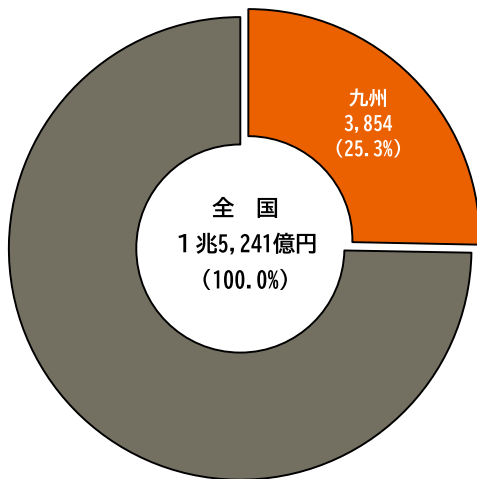
注：漁獲物とは（海面）漁業によって採捕した水産動植物で、収穫物とは（海面）養殖業によって収穫した水産動植物です。

2. 漁業産出額 - Fisheries Output -

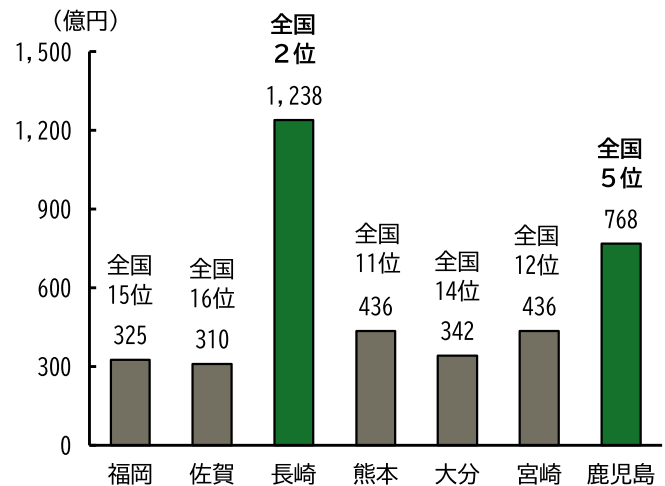
九州の海面漁業・養殖業産出額は全国の25%。

令和5年における九州の海面漁業・養殖業産出額は3,854億円で、全国の25.3%を占めています。県別にみると、長崎県が1,238億円（全国2位）で最も大きく、次いで鹿児島県（768億円、同5位）、熊本県（436億円、同11位）と続いています。

令和5年 海面漁業・養殖業産出額
（全国・九州）



令和5年 海面漁業・養殖業産出額
（九州県別）



資料：農林水産省統計部「漁業産出額」（以下同じ）

注：捕鯨業を除いています。（以下同じ）

注：「九州」としての公表数値が無いものについては、九州各県の値を九州農政局統計部で単純計算しています。（以下同じ）

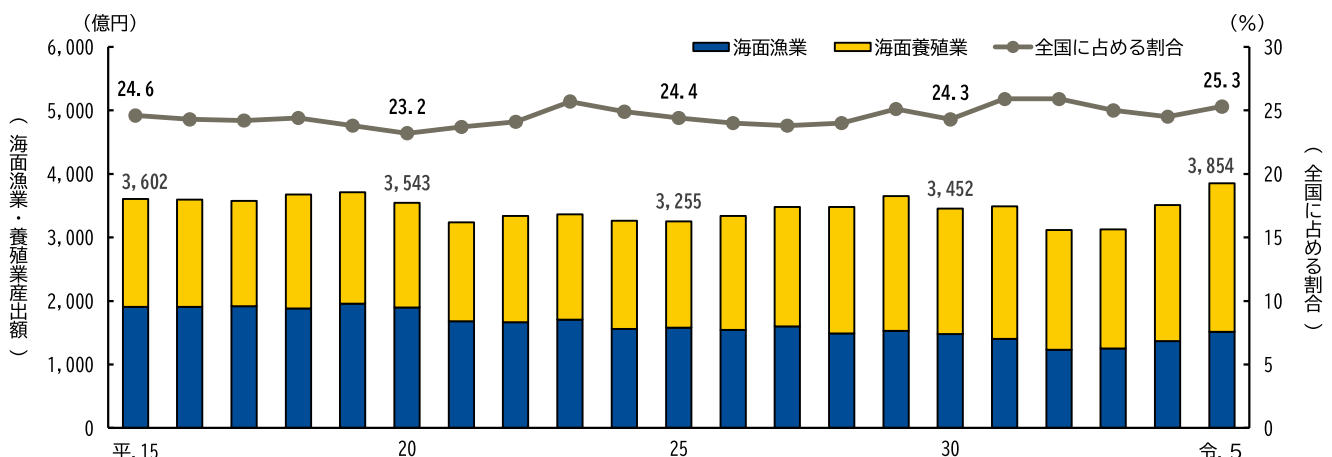
注：四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合があります。（以下同じ）

九州の漁業産出額は海面養殖業が増加傾向で推移。

九州の海面漁業・養殖業産出額は、平成15年以降、3,000億円から4,000億円の範囲で推移しており、全国に占める割合は25%前後で推移しています。

産出額の内訳をみると、海面漁業が減少傾向で推移している一方で、海面養殖業は増加傾向で推移しています。全体に占める海面養殖業の割合は平成22年に初めて50%を超え、現在は60%を超えています。

海面漁業・養殖業産出額と全国に占める割合の推移（九州）



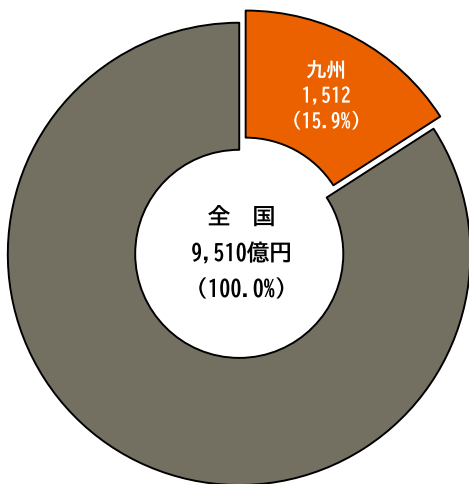
2. 漁業産出額（つづき）

九州の海面漁業産出額は全国の16%。

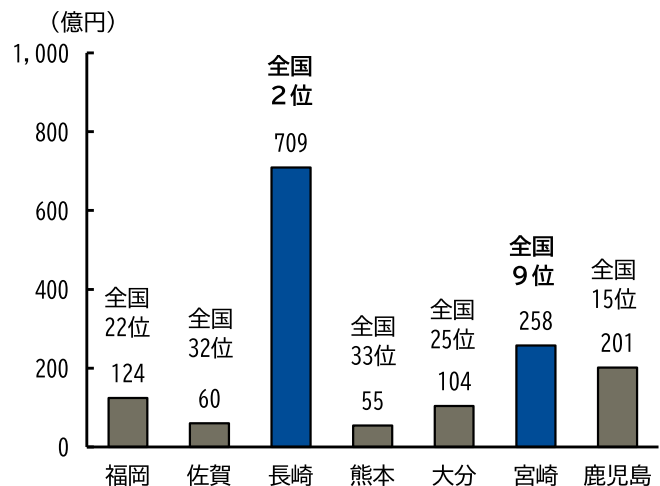
令和5年における九州の海面漁業産出額は1,512億円で、全国の15.9%を占めています。

県別にみると、長崎県が709億円（全国2位）で最も大きく、九州全体の大半（46.9%）を占めており、次いで宮崎県（258億円、同9位）、鹿児島県（201億円、同15位）と続いています。

令和5年 海面漁業産出額
（全国・九州）



令和5年 海面漁業産出額
（九州県別）



九州の海面漁業産出額は「まぐろ類」が最も大きい。

九州の海面漁業産出額を魚種別にみると、「まぐろ類」が284.3億円（全国シェア19.9%）で最も産出額が大きく、次いで「あじ類」（169.0億円、同56.4%）、「いわし類」（160.9億円、同13.7%）と続いており、上位3魚種で全体の約4割を占めています。

令和5年 海面漁業産出額上位10魚種（九州）

魚種	産出額 億円	全 シ エ ア %	九州内上位3県					
			1位		2位		3位	
			県	産出額 億円	県	産出額 億円	県	産出額 億円
まぐろ類	284.3	19.9	宮崎	114.3	鹿児島	95.0	長崎	66.3
あじ類	169.0	56.4	長崎	135.1	宮崎	13.4	鹿児島	8.2
いわし類	160.9	13.7	長崎	95.8	大分	22.0	宮崎	19.4
さば類	125.4	34.8	長崎	105.8	鹿児島	6.6	宮崎	5.9
かつお類	104.4	15.1	宮崎	58.9	長崎	30.8	鹿児島	14.3
ぶり類	77.2	25.0	長崎	46.0	福岡	11.2	鹿児島	7.3
いか類	76.4	15.7	長崎	49.0	福岡	7.2	佐賀	6.4
えび類	53.8	20.4	佐賀	29.8	長崎	5.9	鹿児島	5.0
たい類	47.1	32.9	長崎	20.9	福岡	11.8	大分	4.4
たこ類	25.3	9.6	福岡	10.2	長崎	6.3	熊本	3.9

注：「その他の魚類」、「その他の貝類」、「その他の水産動物類」及び秘匿措置により公表されていない魚種を除いています。

2. 漁業産出額（つづき）

 県別・魚種別の産出額では、長崎県の「あじ類」が最も大きい。

令和5年における九州の海面漁業産出額を県別・魚種別にみると、長崎県の「あじ類」が135.1億円（全国1位）で最も大きく、次いで宮崎県の「まぐろ類」（114.3億円、同4位）、長崎県の「さば類」（105.8億円、同1位）と続いています。

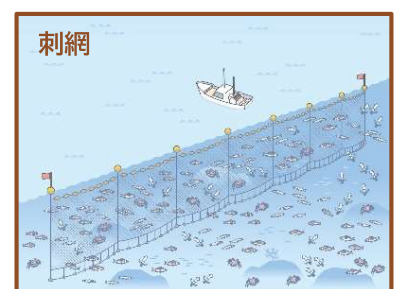
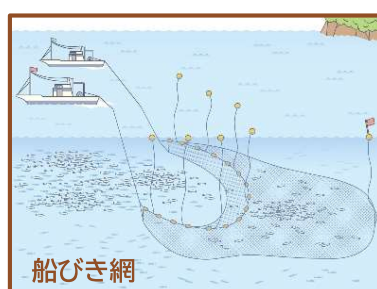
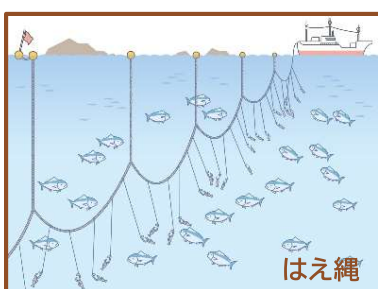
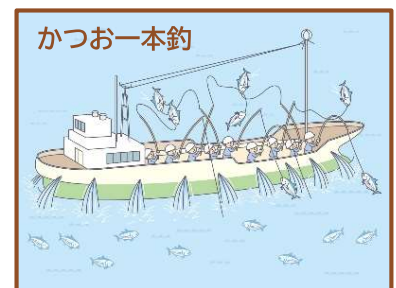
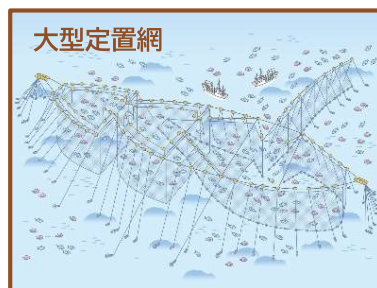
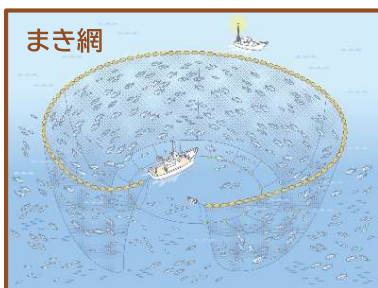
令和5年 海面漁業産出額上位魚種（九州県別）

福岡			佐賀			長崎			熊本		
魚種	産出額 億円	全国順位 位	魚種	産出額 億円	全国順位 位	魚種	産出額 億円	全国順位 位	魚種	産出額 億円	全国順位 位
たい類	11.8	3	えび類	29.8	1	あじ類	135.1	1	いわし類	9.0	26
ぶり類	11.2	8	いか類	6.4	16	さば類	105.8	1	たちうお	4.9	2
さわら類	10.4	1	たい類	1.6	25	いわし類	95.8	3	たこ類	3.9	9
たこ類	10.2	5	あじ類	1.3	26	まぐろ類	66.3	9	えび類	3.4	21
いか類	7.2	14	さわら類	1.0	24	いか類	49.0	3	たい類	3.4	15
なまこ類	5.8	4	あわび類	0.8	18	ぶり類	46.0	1	ぶり類	2.5	26
さば類	3.1	20	ぶり類	0.7	32	かつお類	30.8	9	いか類	2.0	30
えび類	2.9	25	うに類	0.7	12	たい類	20.9	1	ひらめ	1.8	11

大分			宮崎			鹿児島		
魚種	産出額 億円	全国順位 位	魚種	産出額 億円	全国順位 位	魚種	産出額 億円	全国順位 位
いわし類	22.0	17	まぐろ類	114.3	4	まぐろ類	95.0	6
海藻類	8.9	2	かつお類	58.9	4	かつお類	14.3	11
まぐろ類	7.9	22	いわし類	19.4	19	いわし類	13.9	21
あじ類	7.9	8	あじ類	13.4	5	あじ類	8.2	7
いか類	4.8	19	かじき類	6.9	2	ぶり類	7.3	12
たい類	4.4	8	さば類	5.9	15	さば類	6.6	13
さわら類	4.3	8	ぶり類	5.3	18	いか類	5.6	18
ぶり類	4.3	22	えび類	3.7	20	えび類	5.0	17

注：「その他の魚類」、「その他の貝類」、「その他の水産動物類」及び秘匿措置により公表されていない魚種を除いています。

参考：主な海面漁業の漁業種類イメージ



出典：農林水産省HP「漁業センサス」

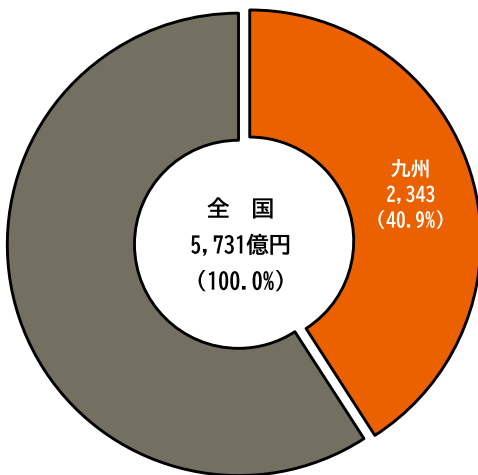
2. 漁業産出額（つづき）

九州の海面養殖業産出額は全国の41%。

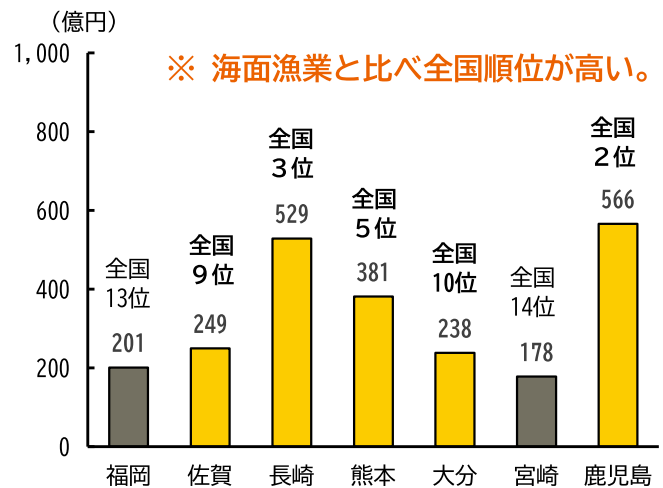
令和5年における九州の海面養殖業産出額は2,343億円で、全国の40.9%を占めています。

県別にみると、鹿児島県が566億円（全国2位）で最も大きく、次いで長崎県（529億円、同3位）、熊本県（381億円、同5位）と続いています。

令和5年 海面養殖業産出額
（全国・九州）



令和5年 海面養殖業産出額
（九州県別）



九州の海面養殖業産出額は「ぶり類」が最も大きい。

九州の海面養殖業産出額を魚種別にみると、「ぶり類」が952.1億円（全国シェア68.1%）で最も産出額が大きく、次いで「のり類」（599.9億円、同55.4%）、「くろまぐろ」（288.9億円、同53.9%）と続き、上位3魚種で全体の約8割を占めています。

令和5年 海面養殖業産出額上位10魚種（九州）

魚種	産出額 億円	全 シ エ ア %	九州内上位3県					
			1位		2位		3位	
			県	産出額 億円	県	産出額 億円	県	産出額 億円
ぶり類	952.1	68.1	鹿児島	460.5	大分	165.0	宮崎	158.7
のり類	599.9	55.4	佐賀	228.6	福岡	185.4	熊本	185.1
くろまぐろ	288.9	53.9	長崎	211.0	鹿児島	56.3	大分	21.6
真珠	139.2	49.7	長崎	120.3	熊本	13.0	大分	3.5
まだい	131.8	18.2	熊本	88.8	長崎	16.8	宮崎	11.0
ふぐ類	59.1	71.3	長崎	33.7	大分	10.5	熊本	9.2
くるまえび	28.2	35.2	鹿児島	14.3	熊本	13.9
しまあじ	27.5	30.6	熊本	13.5	大分	7.7	長崎	4.7
かき類	26.2	6.4	福岡	13.3	長崎	8.0	佐賀	2.0
ひらめ	20.0	60.3	大分	10.4	鹿児島	4.9	長崎	2.4

注：「その他の魚類」、「その他の貝類」、「その他の海藻類」及び秘匿措置により公表されていない魚種を除いています。

2. 漁業産出額（つづき）

 県別・魚種別の産出額では、鹿児島県の「ぶり類」が最も大きい。

令和5年における九州の海面養殖業産出額を県別・魚種別にみると、鹿児島県の「ぶり類」が460.5億円（全国1位）で最も大きく、次いで佐賀県の「のり類」（228.6億円、同2位）、長崎県の「くろまぐろ」（211.0億円、同1位）と続いており、全県に100億円以上の魚種が確認できます。

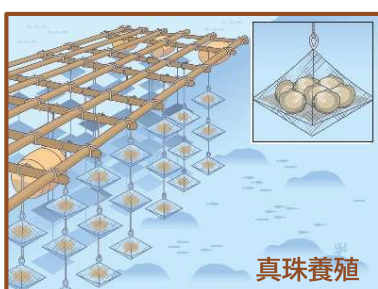
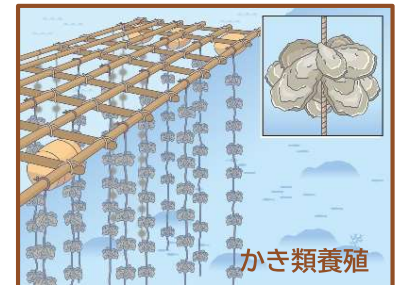
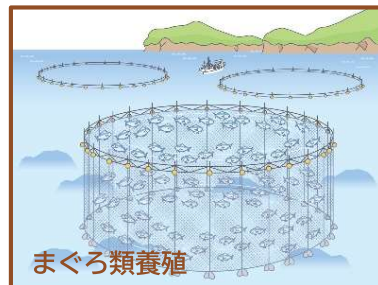
令和5年 海面養殖業産出額上位魚種（九州県別）

福岡			佐賀			長崎			熊本		
魚種	産出額 億円	全国順位 位	魚種	産出額 億円	全国順位 位	魚種	産出額 億円	全国順位 位	魚種	産出額 億円	全国順位 位
のり類	185.4	3	のり類	228.6	2	くろまぐろ	211.0	1	のり類	185.1	4
かき類	13.3	7	ぶり類	6.4	11	真珠	120.3	1	まだい	88.8	2
わかめ類	0.1	15	ふぐ類	5.8	5	ぶり類	115.6	6	ぶり類	45.8	8
—	—	—	真珠	2.5	6	ふぐ類	33.7	1	くるまえび	13.9	3
—	—	—	かき類	2.0	14	まだい	16.8	6	しまあじ	13.5	2
—	—	—	まだい	0.9	14	かき類	8.0	8	真珠	13.0	4

大分			宮崎			鹿児島		
魚種	産出額 億円	全国順位 位	魚種	産出額 億円	全国順位 位	魚種	産出額 億円	全国順位 位
ぶり類	165.0	3	ぶり類	158.7	4	ぶり類	460.5	1
くろまぐろ	21.6	7	まだい	11.0	8	くろまぐろ	56.3	3
ふぐ類	10.5	2	ひらめ	2.0	5	くるまえび	14.3	2
ひらめ	10.4	1	しまあじ	1.5	7	まだい	10.6	9
しまあじ	7.7	3	かき類	0.2	21	ひらめ	4.9	3
まだい	3.7	11	—	—	—	もずく類	0.3	2

注：「その他の魚類」、「その他の貝類」、「その他の海藻類」及び秘匿措置により公表されていない魚種を除いています。

参考：主な海面養殖業の漁業種類イメージ



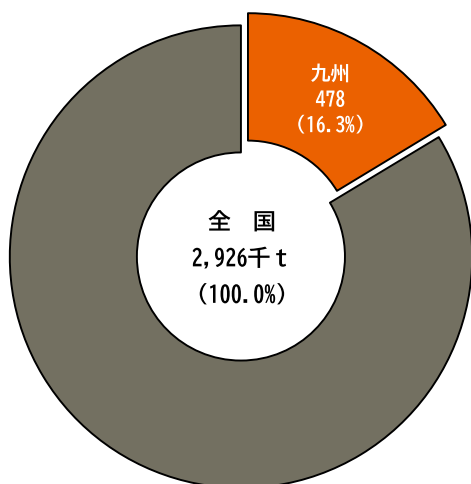
出典：農林水産省HP「漁業センサス」

3. 海面漁業 - Marine Fisheries -

九州の海面漁業の漁獲量は全国の16%。

令和5年における九州の海面漁業の漁獲量は478千tで、全国の16.3%を占めています。魚種別にみると、九州では「青魚（あおざかな）」と総称される「いわし類」、「さば類」、「あじ類」の3魚種で全体の6割以上を占めており、全国と比較して高い割合にあります。

令和5年 海面漁業の漁獲量
(全国・九州)



資料：農林水産省統計部「海面漁業生産統計調査」（以下同じ）
注：「九州」としての公表数値が無いものについては、九州各県の値を単純計算しています。（以下同じ）

令和5年 海面漁業の魚種別漁獲量（上位魚種）
(全国・九州)

魚種	全 国		九 州		
	漁獲量 千t	構成割合 %	漁獲量 千t	構成割合 %	
いわし類	944.8	32.3	152.7	31.9	
ほたてがい	330.6	11.3	さば類	93.0	19.4
さば類	269.6	9.2	あじ類	63.9	13.4
かつお類	206.4	7.1	まぐろ類	32.1	6.7
たら類	177.5	6.1	かつお類	30.8	6.4
まぐろ類	144.9	5.0	ぶり類	19.8	4.1
あじ類	112.3	3.8	たい類	8.3	1.7
ぶり類	87.2	3.0	いか類	6.7	1.4
さけ・ます類	63.0	2.2	えび類	3.8	0.8
海藻類	58.5	2.0	海藻類	3.1	0.6

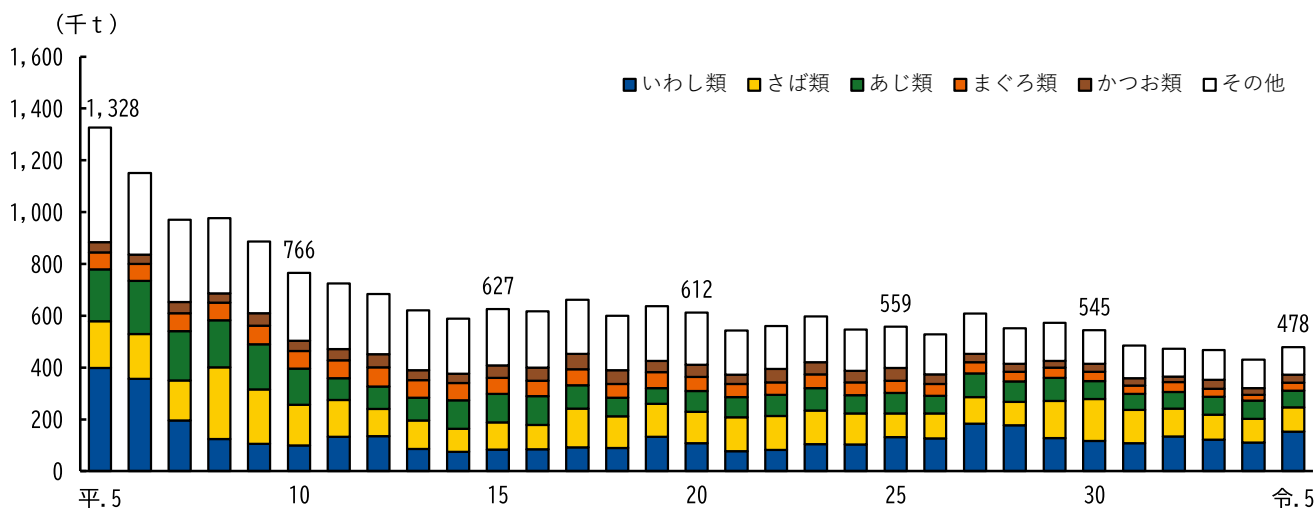
注：「その他の魚類」、「その他の貝類」、「その他の水産動物類」及び秘匿措置により公表されていない魚種を除いています。

九州の海面漁業の漁獲量は30年で6割以上減少。

九州における海面漁業の過去30年間の漁獲量の推移をみると、減少傾向で推移しており、30年前（平成5年）から850千t（64.0%）減少しています。

上位魚種の漁獲量の減少率をみると、「あじ類」の68.0%が最も大きく、次いで「いわし類」（61.6%）、「まぐろ類」（51.5%）と続いています。

海面漁業の漁獲量の推移（九州）



注：秘匿措置により公表されていない魚種は「その他」に含めています。

3. 海面漁業（つづき）

長崎県の漁獲量は九州の約6割。

令和5年における九州の海面漁業の漁獲量を県別にみると、長崎県が292,890 tで最も多く、次いで宮崎県（82,611 t）、鹿児島県（45,724 t）と続いています。魚種別にみると、福岡県と佐賀県を除くすべての県で「いわし類」が最も高い割合を占めています。

令和5年 海面漁業の魚種別漁獲量（上位魚種）（九州各県）

福岡			佐賀			長崎			熊本		
魚種	漁獲量	構成割合	魚種	漁獲量	構成割合	魚種	漁獲量	構成割合	魚種	漁獲量	構成割合
	100 t	%		100 t	%		100 t	%		100 t	%
漁獲量計	185.5	100.0	漁獲量計	62.9	100.0	漁獲量計	2,928.9	100.0	漁獲量計	123.8	100.0
ぶり類	27.8	15.0	えび類	22.9	36.4	いわし類	1,070.0	36.5	いわし類	56.2	45.4
さば類	23.0	12.4	いか類	4.4	7.0	さば類	761.5	26.0	海藻類	5.0	4.0
たい類	21.3	11.5	あじ類	4.3	6.8	あじ類	460.1	15.7	ぶり類	4.8	3.9
あじ類	8.7	4.7	たい類	2.5	4.0	ぶり類	129.9	4.4	たい類	4.7	3.8
いか類	7.4	4.0	いわし類	1.8	2.9	かつお類	98.5	3.4	たちうお	4.7	3.8
たこ類	7.3	3.9	ぶり類	1.0	1.6	まぐろ類	48.0	1.6	えび類	4.2	3.4
さわら類	6.4	3.4	さわら類	0.9	1.5	いか類	45.2	1.5	このしろ	3.6	2.9
海藻類	4.6	2.5	このしろ	0.8	1.3	たい類	41.2	1.4	あじ類	2.7	2.2

大分			宮崎			鹿児島		
魚種	漁獲量	構成割合	魚種	漁獲量	構成割合	魚種	漁獲量	構成割合
	100 t	%		100 t	%		100 t	%
漁獲量計	199.1	100.0	漁獲量計	826.1	100.0	漁獲量計	457.2	100.0
いわし類	73.8	37.1	いわし類	210.3	25.5	いわし類	112.4	24.6
さば類	22.0	11.0	まぐろ類	164.8	19.9	まぐろ類	97.2	21.3
あじ類	21.6	10.8	かつお類	158.5	19.2	さば類	49.9	10.9
海藻類	13.4	6.7	あじ類	107.8	13.0	かつお類	49.8	10.9
まぐろ類	10.3	5.1	さば類	70.6	8.5	あじ類	34.4	7.5
ぶり類	8.1	4.0	ぶり類	11.7	1.4	ぶり類	14.9	3.2
たい類	5.5	2.8	さめ類	10.8	1.3	さめ類	10.2	2.2
いか類	4.0	2.0	かじき類	8.2	1.0	たい類	6.5	1.4

注：「その他の魚類」、「その他の貝類」、「その他の水産動物類」及び秘匿措置により公表されていない魚種は「漁獲量計」に含めています。

漁業種類別の漁獲量では「まき網」が大きな割合を占める。

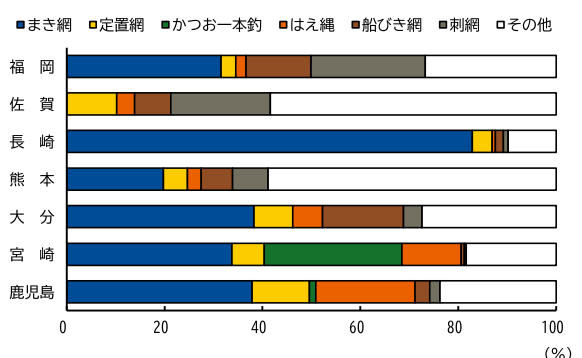
漁業には多くの漁業種類（漁法）があり、その中でも「いわし類」、「さば類」、「あじ類」等の群れを包み込んで獲る「まき網」の漁獲量は、全国・九州ともに大きな割合を占めています。

令和5年 海面漁業の漁業種類別漁獲量（上位漁業種類）（全国・九州）

全国			九州		
漁業種類	漁獲量	構成割合	漁業種類	漁獲量	構成割合
	千t	%		千t	%
まき網	1,197.1	40.9	まき網	303.7	63.5
底びき網	614.7	21.0	定置網	26.1	5.5
定置網	408.7	14.0	かつお一本釣	23.8	5.0
船びき網	135.9	4.6	はえ縄	23.5	4.9
刺網	121.5	4.2	船びき網	13.8	2.9
はえ縄	111.5	3.8	刺網	11.3	2.4

注：「その他の網漁業」、「その他の漁業」及び秘匿措置により公表されていない漁業種類は「その他」に含めています。

令和5年 海面漁業の漁業種類別漁獲量構成割合（九州）

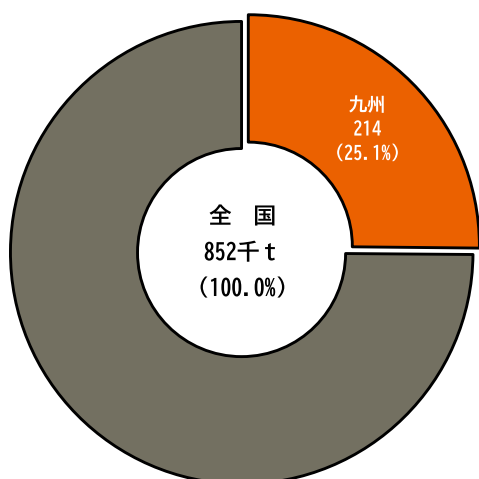


4. 海面養殖業 - Marine Aquaculture -

九州の海面養殖業の収穫量は全国の25%。

令和5年における九州の海面養殖業の収穫量は214千tで、全国の25.1%を占めています。魚種別にみると、全国・九州ともに「のり類」が高い割合を占めており、九州では「のり類」、「ぶり類」だけで海面養殖業全体の8割以上を占めています。

令和5年 海面養殖業の収穫量
(全国・九州)



令和5年 海面養殖業の魚種別収穫量 (上位魚種)
(全国・九州)

魚種	全 国		九 州	
	収穫量 (千t)	構成割合 (%)	収穫量 (千t)	構成割合 (%)
のり類	201.0	23.6	96.4	45.1
ほたてがい	151.3	17.8	83.2	38.9
かき類	149.1	17.5	14.0	6.6
ぶり類	123.5	14.5	8.7	4.1
まだい	67.3	7.9	3.2	1.5
わかめ類	49.6	5.8	2.0	0.9
こんぶ類	25.7	3.0	1.4	0.7
ぎんざけ	22.1	2.6	1.0	0.5

資料：農林水産省統計部「海面漁業生産統計調査」(以下同じ)

注：種苗養殖を除きます。(以下同じ)

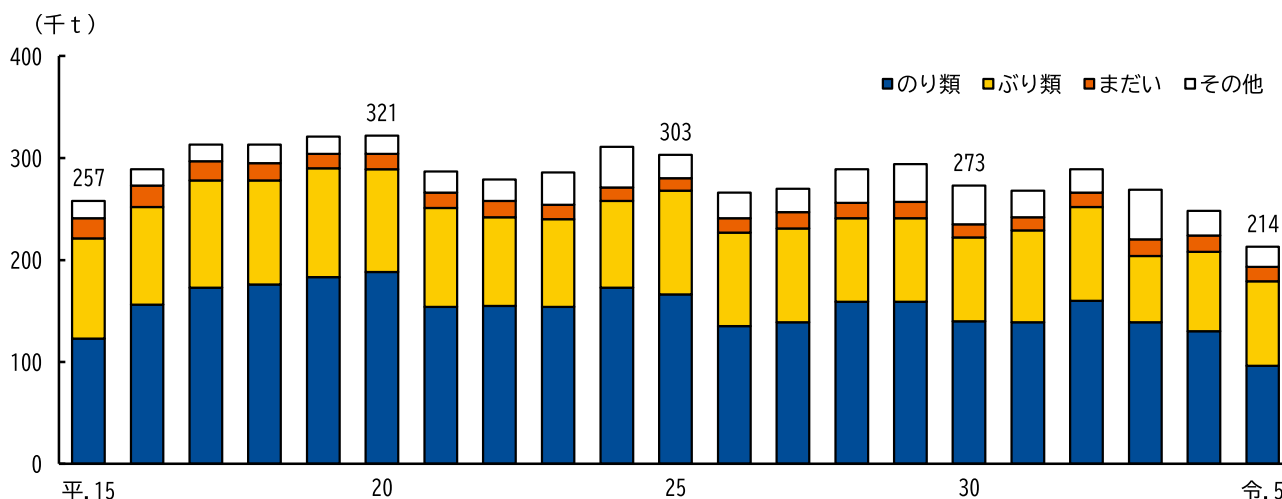
注：「九州」としての公表数値が無いものについては、九州各県の値を単純計算しています。(以下同じ)

九州の海面養殖業の収穫量は緩やかな減少傾向。

九州における海面養殖業の過去20年間の収穫量の推移をみると、平成20年(320,811t)をピークに、近年は緩やかな減少傾向で推移しています。

令和5年の大幅な減少については、主に「のり類」において、海水温の上昇や栄養塩の不足、赤潮の発生といった複数の要因が複合的に重なったことによるものです。

海面養殖業の収穫量の推移 (九州)



注：秘匿措置により公表されていない魚種は「その他」に含めています。

4. 海面養殖業（つづき）

九州各県の主力魚種は「のり類」と「ぶり類」に二極化。

令和5年における九州の海面養殖業の収穫量を県別にみると、熊本県が47,864 tで最も多く、次いで鹿児島県（45,127 t）、佐賀県（38,442 t）と続いています。魚種別にみると、福岡県、佐賀県、熊本県では「のり類」、その他の県では「ぶり類」が大きな割合を占めています。

令和5年 海面養殖業の魚種別収穫量（上位魚種）（九州各県）

福岡			佐賀			長崎			熊本		
魚種	収穫量 100 t	構成割合 %	魚種	収穫量 100 t	構成割合 %	魚種	収穫量 100 t	構成割合 %	魚種	収穫量 100 t	構成割合 %
収穫量計	286.1	100.0	収穫量計	384.4	100.0	収穫量計	225.3	100.0	収穫量計	478.6	100.0
のり類	270.7	94.6	のり類	370.3	96.3	ぶり類	103.3	45.8	のり類	321.8	67.2
かき類	14.8	5.2	ぶり類	7.6	2.0	くろまぐろ	62.5	27.8	まだい	93.9	19.6
わかめ類	0.5	0.2	かき類	2.6	0.7	まだい	18.8	8.4	ぶり類	43.6	9.1
—	—	—	ふぐ類	2.0	0.5	かき類	12.3	5.5	しまあじ	7.4	1.5
—	—	—	まだい	1.0	0.3	ふぐ類	10.8	4.8	ふぐ類	4.0	0.8

大分			宮崎			鹿児島		
魚種	収穫量 100 t	構成割合 %	魚種	収穫量 100 t	構成割合 %	魚種	収穫量 100 t	構成割合 %
収穫量計	163.9	100.0	収穫量計	150.1	100.0	収穫量計	451.3	100.0
ぶり類	137.8	84.1	ぶり類	133.7	89.1	ぶり類	405.9	89.9
くろまぐろ	6.1	3.7	まだい	11.7	7.8	くろまぐろ	18.5	4.1
ひらめ	4.7	2.8	ひらめ	1.2	0.8	まだい	11.6	2.6
しまあじ	3.5	2.2	しまあじ	0.8	0.5	ひらめ	2.8	0.6
まだい	3.5	2.1	かき類	0.3	0.2	くろまえば	2.7	0.6

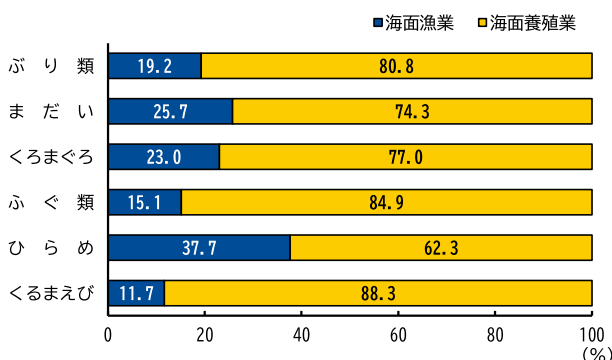
注：「その他の魚類」、「その他の貝類」、「その他の海藻類」及び秘匿措置により公表されていない魚種は「収穫量計」に含めています。

「ふぐ類」と「ぶり類」の全国シェアは約4割。

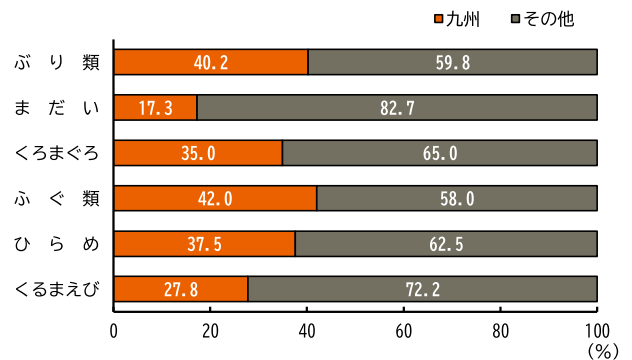
海面養殖業の中には、収穫量が海面漁業の漁獲量を上回る魚種があり、九州では、特に「くろまえば」や「ふぐ類」の収穫量が海面漁業の漁獲量を大きく上回っています。

また、九州の海面養殖業の収穫量の全国シェアをみると、「ふぐ類」と「ぶり類」が約4割を占めています。

令和5年 海面漁業の漁獲量と海面養殖業の収穫量の割合（九州）



令和5年 海面養殖業の収穫量の全国シェア（九州）



注：秘匿措置により公表されていない魚種の漁獲量・収穫量は九州計に含まれません。

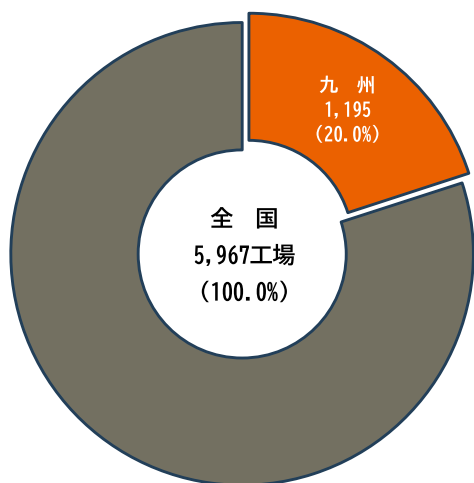
5. 水産加工 - Marine Product Processing -

九州の水産加工場数は全国の20%。

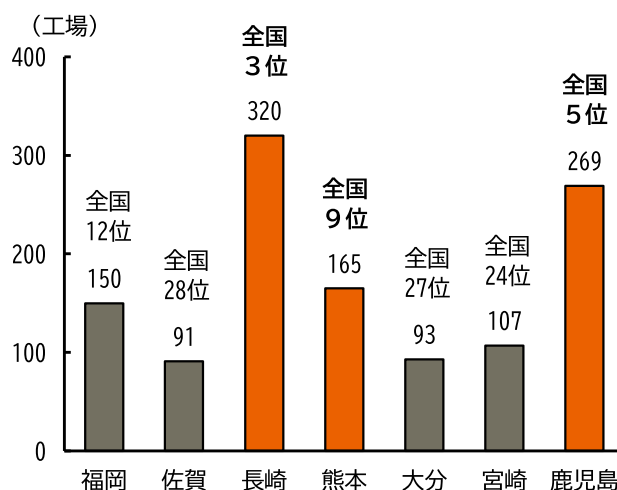
令和5年における九州の水産加工場数は1,195工場で、全国の20.0%を占めています。

県別にみると、長崎県が320工場（全国3位）で最も多く、次いで鹿児島県（269工場、同5位）、熊本県（165工場、同9位）と続いています。

令和5年 水産加工場数
(全国・九州)



令和5年 水産加工場数（九州各県）



資料：農林水産省統計部「漁業センサス」（以下同じ）

注：「九州」としての公表数値が無いものについては、九州各県の値を単純計算しています。（以下同じ）

九州の「節製品」は全国的に高いシェアを有する。

九州の水産加工場では「ねり製品」を営んだ工場が最も多い状況にあります。

一方で、九州の「節製品」の生産量は全国的に高いシェアを有しており、鹿児島県の「かつお節」（18,980 t、全国シェア74.2%）、熊本県の「さば節」（4,505 t、同58.9%）は、全国生産量の大半を占めています。

令和5年 営んだ加工種類別工場数
(上位種類) (全国・九州)

全 国		九 州	
種 類	工 場 数	種 類	工 場 数
生鮮冷凍水産物	1,217	ねり製品	292
塩干品	1,174	塩干品	201
冷凍食品	1,007	煮干し品	171
ねり製品	885	生鮮冷凍水産物	171
煮干し品	816	冷凍食品	162
塩蔵品	574	節製品	112
節製品	438	塩蔵品	76
素干し品	338	焼・味付のり	58

令和5年 かつお節・さば節生産量
(全国・上位3県)

種 類	県	生 産 量	全 国 シェ ア
		t	%
かつお節	全 国	25,578	—
	鹿 児 島	18,980	74.2
	静 岡	6,413	25.1
さば節	高 知	67	0.3
	全 国	7,646	—
	熊 本	4,505	58.9
	鹿 児 島	1,911	25.0
	静 岡	816	10.7

注：「その他の食用加工品その他」は含みません。

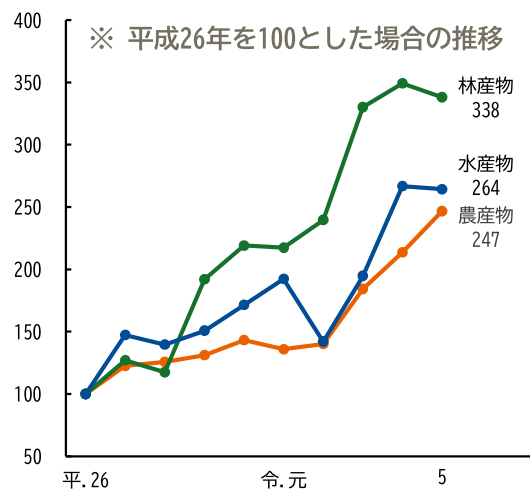
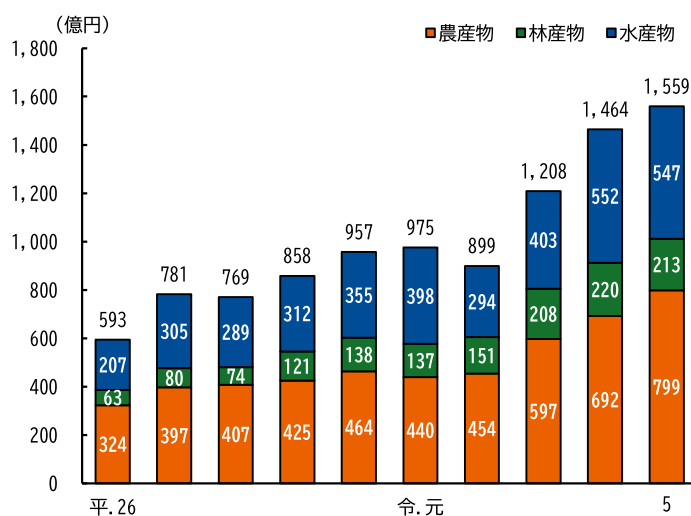
6. 水産物の輸出 - Export Of Marine Products -

九州の水産物の輸出額は増加傾向。

令和5年における九州の港等からの農林水産物・食品輸出額は1,559億円で、そのうち、水産物は35.1%（547億円）を占めています。

農産物に比べ輸出額全体に占める割合は低いものの、平成26年を100とした場合の推移をみると、その伸び率は一貫して農産物を上回っています。

農林水産物・食品輸出額の推移（九州地域税関分）



資料：九州農政局「見たい！知りたい！九州農業」

注：財務省貿易統計をもとに、九州地域の港等からの輸出額を九州農政局で参考集計したもの。

水産物の主な輸出品目は「ぶり類」。

九州の水産物輸出は、品目としては「ぶり類」が中心であり、主な輸出先はアジア諸国及びアメリカとなっています。

九州の水産物の主な輸出品目と輸出先（令和4年度）

● 長崎県

輸出品目：活魚（まだい、まあじ等）
鮮魚（まぐろ等）
輸出先：中国、アメリカ、韓国等
輸出額：71.5億円

● 大分県

輸出品目：養殖ぶり、養殖くろまぐろ
輸出先：アメリカ、韓国、香港等
輸出額：11.1億円

● 熊本県

輸出品目：ぶり、まだい等
輸出先：アメリカ、韓国等
輸出額：27.7億円

● 宮崎県

輸出品目：養殖ぶり等
輸出先：台湾、アメリカ、EU等
輸出額：18.5億円

● 鹿児島県

輸出品目：ぶり、かんぱち、水産加工品等
輸出先：アメリカ等
輸出額：136.4億円

資料：九州農政局『見たい！知りたい！九州農業』

注：各県からの聞き取りによる。

7. 九州漁業に関する主要統計指標

項目	単位	年次	全国	九州	全国シェア	摘要（資料名）
漁業経営体数	経営体	令和5年	65,662	15,170	23.1%	2023年漁業センサス（令和5年11月1日現在）
うち、個人経営体	〃	〃	61,388	14,165	23.1%	〃
うち、会社	〃	〃	2,651	844	31.8%	〃
うち、漁業協同組合	〃	〃	153	30	19.6%	〃
漁業就業者数	人	令和5年	121,389	29,534	24.3%	2023年漁業センサス（令和5年11月1日現在）
漁船隻数	隻	令和5年	109,284	27,155	24.8%	2023年漁業センサス（令和5年11月1日現在）
うち、動力漁船	〃	〃	58,907	16,827	28.6%	〃
魚市場数	市場	令和6年	759	121	15.9%	2023年漁業センサス（令和6年1月1日現在）
うち、中央卸売市場	〃	〃	31	2	6.5%	〃
うち、地方卸売市場	〃	〃	396	86	21.7%	〃
冷凍・冷蔵工場数	工場	令和5年	4,049	662	16.3%	2023年漁業センサス（令和5年11月1日現在）
水産加工工場数	工場	令和5年	5,967	1,195	20.0%	2023年漁業センサス（令和5年11月1日現在）
海面漁業生産量	海面漁業漁獲量	100 t	29,264	4,783	16.3%	令和5年漁業・養殖業生産統計
	海面養殖業収穫量	〃	8,515	2,140	25.1%	〃
内水面漁業生産量	内水面漁業漁獲量	t	21,567	189	0.9%	令和5年漁業・養殖業生産統計
	内水面養殖業収穫量	〃	30,341	12,282	40.5%	〃
漁業産出額	億円	令和5年	16,554	令和5年漁業産出額（捕鯨業を除く）
海面	漁業	〃	9,510	1,512	15.9%	〃
	養殖業	〃	5,731	2,343	40.9%	〃
内水面	漁業	〃	149	〃
	養殖業	〃	1,163	〃

項目	単位	年次	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
漁業経営体数	経営体	令和5年	2,008	1,317	4,804	2,166	1,509	812	2,554
うち、個人経営体	〃	〃	1,927	1,272	4,547	2,068	1,399	649	2,303
うち、会社	〃	〃	39	9	224	87	105	153	227
うち、漁業協同組合	〃	〃	6	-	12	4	-	1	7
漁業就業者数	人	令和5年	3,913	2,965	9,208	4,121	2,524	1,996	4,807
漁船隻数	隻	令和5年	3,767	3,911	7,907	4,006	2,429	1,212	3,923
うち、動力漁船	〃	〃	2,290	1,695	5,197	2,262	1,605	1,022	2,756
魚市場数	市場	令和6年	9	5	19	12	19	17	40
うち、中央卸売市場	〃	〃	1	-	-	-	-	-	1
うち、地方卸売市場	〃	〃	7	5	4	4	19	16	31
冷凍・冷蔵工場数	工場	令和5年	98	57	152	72	74	85	124
水産加工工場数	工場	令和5年	150	91	320	165	93	107	269
海面漁業生産量	海面漁業漁獲量	100 t	185	63	2,929	124	199	826	457
	海面養殖業収穫量	〃	286	384	225	479	164	150	451
内水面漁業生産量	内水面漁業漁獲量	t	67	7	-	13	75	27	-
	内水面養殖業収穫量	〃	177	15	13	342	186	3,583	7,966
漁業産出額	億円	令和5年
海面	漁業	〃	124	60	709	55	104	258	201
	養殖業	〃	201	249	529	381	238	178	566
内水面	漁業	〃
	養殖業	〃

注：「…」は、事実不詳又は調査を欠くものであり、県・地域別に取りまとめを行っていないものです。

注：「-」は、事実のないものです。

注：「九州」としての公表数値が無いものについては、九州各県の値を単純計算しています。

注：統計値は、四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合があります。

-
1. 漁業経営体
 2. 漁業産出額
 3. 海面漁業
 4. 海面養殖業
 5. 水産加工
 6. 水産物の輸出
 7. 主要統計指標

—— 問合せ先 ——

九州農政局統計部
統計企画課
TEL : 096-211-9111



九州農政局「統計情報」